

ID :

R4.10.1改定

氏名 : 様用

CT等 造影剤（ヨード系）使用についての同意書

e-GFR : mL/min/1.73m² 検査日 _____
検査部位 _____
: 説明者 _____

【造影検査について】

今回予定されている検査では、より正確な診断のために「造影剤」という薬の使用を予定しています。この造影剤を使用することによって病変の形や広がりが見えやすくなり、質的診断に役立つとともに、造影剤の使用により発見が可能となる病気もあります。

【造影剤の説明】

当院で使用している造影剤は以下の薬剤です。

- ・オムニパーク300・イオパミロン370

オムニパーク300・イオパミロン370は注射液を注入筒に充填した、非イオン性のヨード系造影剤です。本薬剤は、静脈内に投与した場合、血中および細胞外液に分布し、およそ24時間で93～99%が尿中に排出されます。

『禁忌』：ヨードまたはヨード造影剤に過敏症の既往歴のある方や、重篤な甲状腺疾患のある方。

【注意事項】

- ・検査前は（午前の検査なら朝食、午後の検査なら昼食）を食べないようにお願いします。
- ・ただし水分（水、お茶）の補給は推奨されていますので、検査前後に水分補給をお願いします。
- ・腎機能や服用している薬により、造影検査の前後に点滴をする場合があります。

【副作用について】

造影剤は比較的安全な薬ですが、次のような即時性の副作用が起こる可能性があります

※過去の造影検査で以下のような症状があった方は、造影剤の使用が危険なので必ずお知らせ下さい。

- 軽い副作用：約40人に1人 発疹、かゆみ、頭痛、吐き気、めまい、くしゃみ 等
- 重い副作用：約2万5千人に1人 呼吸困難、肺水腫、痙攣、ショック等
- 死亡：約50万人に1人

また、検査後数時間から2～3日後に遅発性副作用として発疹、発赤、悪心、嘔吐、血圧低下、頭痛などの報告もあります。症状の軽い報告が多いですが、ご心配の際には病院へご相談下さい。

次の疾患がある方は、副作用を生じる可能性が高くなります。

- ・喘息 ・アレルギー体質 ・甲状腺機能亢進症 ・肝、腎臓の疾患 等

※造影剤を使わなくてもある程度の情報は得られますが、今回の検査では造影剤を使用した方が状態をより理解できると担当医が判断しました。疑問等ありましたら担当医にご質問下さい。

医聖会 学研都市病院 病院長殿

私は、CT検査で造影剤が必要な理由、副作用に関して十分理解した上で今回の検査に

同意します 同意しません

（どちらかにチェックをしてください）

年 月 日 署名 代筆の場合（続柄 ）

- ・この同意は、注射をする前ならばいつでも取り消すことができます。
- ・同意された場合でも担当医が造影剤は必要ないと判断した場合は造影しないことがあります。